



平成19年NST活動の基本は、患者からの回診を継続しています。定例会議は、月一回開催し、NST活動の問題点を検討します。医療の質向上に積極的に活動に参加し、NST活動の標準化を推進しました。

平成20～22年胃ろう造設管理の院内パスの作成、胃ろう造設の地図について、病院・在宅症例検討会

在宅症例検討会

平成26年度は、サルコペニアの予防を目標に、栄養だけでなく筋力維持のための運動を検討しました。平成27～28年度は、胃ろう造設管理パスの改訂、嚥下機能評価の標準化と実践、平成29～30年は、NST対象患者の再評価の仕組み、など多くの成果を挙げました。

現在までのテーマは、(1)地域包括ケアシステムと在宅療養推進にむけての医療と介護の連携、(2)訪問看護の役割、(3)介護支援専門員の役割と実業性、(4)訪問薬剤指導、(5)訪問歯科診療および口腔ケアの重複への練馬区の取り組み、(7)在宅支援とACPの現状と今後です。

在宅療養を推進するためには、医療職・介護職だけでなく、練馬区の地域医療担当の職員、高齢者支援センター職員も参加し、現状の問題点や見交換を行い、相互理解が深まりました。



長さは50cmと75cmの2種類

平成19年5月に多職種チームとして、NSTを設立しました。栄養サポートは、低栄養患者に適切な栄養療法を行い、栄養状態の改善による治療効果の向上を目指します。チームには、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・リハビリテーション・医事課など多くの職員が参加しています。

NST活動の基本は、患者の栄養状態をカルテ・病棟回診により正しく診察することです。

平成19年NST開始後、月曜日午前9時からの回診を継続しています。定例会議は、月一回開催し、NST活動の問題点を検討します。

NST活動の基本は、患者の栄養状態をカルテ・病棟回診により正しく診察することです。

平成26年度は、サルコペニアの予防を目標に、栄養だけでなく筋力維持のための運動を検討しました。平成27～28年度は、胃ろう造設管理パスの改訂、嚥下機能評価の標準化と実践、平成29～30年は、NST対象患者の再評価の仕組み、など多くの成果を挙げました。

平成19年5月に多職種チームとして、NSTを設立しました。栄養サポートは、低栄養患者に適切な栄養療法を行い、栄養状態の改善による治療効果の向上を目指します。チームには、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・リハビリテーション・医事課など多くの職員が参加しています。

私の病院、紹介します!

練馬総合病院は、練馬区にある224床の急性期病院であり、平成30年に70周年を迎えました。平成19年に新病院となり最新の医療機器による検査、治療が可能になりました。患者が安心して医療を受けるためには、職員の意識は重要です。当院では、医療の質向上活動を20年以上継続しており、多職種横断的な活動を通じて、より良い医療の実現に向けて日々活動をしています。今回、当院の栄養管理と地域連携をテーマに当院の活動の一部を紹介します。

**職員が、働いて良かった
地域が、在るので安心、といえる
医療を行う病院**

公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院
副院長 診療部長 外科科長
(内視鏡センター・化学療法センター長 地域連携室長兼務)

栗原 直人

今後について

理に対する職員の認識を高め、患者の治療をサポートし、地域医療連携を充実させるよう活動を継続します。

入院患者の高齢化に伴い、栄養管理が必要な患者が増加しています。今後も、栄養管

理に対する職員の認識を高め、患者の治療をサポートし、地域医療連携を充実させるよう活動を継続します。



PDN ショップにて販売中！ <http://pdnshop.com/>

PDN ブラシ

概略仕様
価格

線:SUS304、シングルスパイラル
ブラシ材:ナイロン L:500mm 750mm
1本 2,315円 消費税・送料別

製造
NPO 法人 PDN (Patient Doctors Network)
TEL 03-5859-5518 FAX 03-5859-5519